



市長との約束 2016

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

岩出山総合支所長

道塚 信市

約束内容	伝統工芸品伝承事業の推進
達成目標	宮城県指定の伝統的工芸品「岩出山のしの竹細工」を伝承するため、年度末までにその価値と魅力を内外に発信し、ファン層を拡大すると共に指導体制を充実強化し、携わる人の裾野を広げる取り組みを実施します。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	<p>①竹細工指導助手の確保 従来、竹細工の技術指導体制は、指導員1名と指導助手1名の2名体制で普及を図ってまいりましたが、平成27年度から欠員であった指導助手について、平成28年3月に募集を行い、4月1日付けで1名採用することができました。今後は、技術習得に努めて頂き、竹細工指導体制の充実を図ってまいります。</p> <p>②インターネットによる竹細工のPR 現状、竹細工指導所、竹工芸館は、インターネットによるPR等は行っていないため、ホームページの開設を目指し取り組んでまいりましたが、環境整備等が遅れ、開設に至ることができず、竹工芸館のブログ開設でPRに努めてまいりました。ホームページの開設については、平成29年度に開設を予定します。</p> <p>③普及用指導テキスト等の策定 従来の指導方法は、指導員が直接実地指導する方法で行っていましたが、この方法では指導に限界があることから、見て体験して学べるよう、指導、普及用テキスト等の策定を行ってまいりました。一部、しの竹の切り取りと乾燥が5月まで及ぶことから、完成は6月を予定しています。</p>
今後の課題 解決策	平成28年度に指導体制の充実を図り、技術継承並びに普及を図るためにテキスト、映像等を策定してまいりました。今後は、竹細工の将来像たるグランドデザインを描き、それを実現するためのアクションプランを策定して持続可能な伝統工芸品として育成を図る必要があります。

約束内容	地域振興施設等の有機的な連携による地域活性化の推進
達成目標	岩出山地域内観光施設等連絡会組織の充実を図り、情報共有及び連携により交流人口の流れを誘導し地域活性化の推進を図ります。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	平成28年6月に岩出山地域観光施設等連絡会を7団体をもって設立いたしました。年度内に4回の会議を開催し、情報交換をさせて頂くと共に連携して誘客を推進する組織の必要性について共通認識を持つことができました。また、観光案内看板の設置に関し、ご検討を頂き、年度内に数か所設置する予定になっています。
今後の課題 解決策	定期開催により情報交換を行い、連携して地域内への誘客に努めると共に誘客に必要な案内看板の検討及び地域内観光ルートの設定を行う必要があります。

約束内容	地域イベントの充実と運営体制の見直し強化
達成目標	特に「政宗公まつり」について、開催内容を再検討し、従来からの歴史的な内容を継承しつつ、新たなイベントを付加することにより、誰でもが参加し、楽しめる地域イベントの構築を図ります。また、永くイベントを開催するための運営体制の見直しを行います。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	<p>①新たな参加型イベントの開催 本年度は、政宗公祭りの前夜祭において、参加型イベントとして甲冑コスプレ世界大会を商工会青年部が中心になって企画し開催することができました。当日は、天候にも恵まれ、たいへんな賑わいで盛会理に終了することができ、また、翌日の本祭りにおいても自作甲冑でパレードに参加して頂き、観客皆様からは喝采を頂きたいへん好評でありました。</p> <p>②イベント運営体制の充実 従来、事務局に一局集中していた運営事務等について、将来を見据え、担当を分散する方法で対応を図りましたが、支障なく、負担も軽減されて開催することができました。また、関係団体へ一部の関連事務を担って頂きたく数回協議を重ねましたが、職員の減少等の関係から担って頂くことができず、残念に思うところでした。</p>
今後の課題 解決策	政宗公祭り等イベントについては、若者や地域内外の方に参加して頂けるような参加型イベントとして企画運営を行う必要があります。また、運営体制については、実行委員会等組織の充実強化を図り、事務局としては、誰が担当しても運営できるように役割を分散して対応する必要があります。

約束内容	一人ひとりが主体的に取り組む健康推進事業
達成目標	地域民の健康づくりを推進するため、特定健診において昨年度以上の受診率を目指すため、一次予防事業の拡大を図ります。
達成度	S 達成目標を上回る（100%を超える）★★★★
達成状況	地域民の健康づくりを推進するため特定健診の受診率の増加に努めてまいりました。その結果、保健協力推進員などの積極的なPRにより健康意識の向上が図られ、8項目の健診受診合計において69名の増加を図ることができました。
今後の課題 解決策	人口が減少し、高齢化が進む中、健康意識の向上は、安全で安心な生活を送るためには大変重要なことでもあります。引き続き関係団体等と連携を図り、各種健診の受診率の向上に努める必要があります。